SKY Perfect JSAT Holdings Inc.

会社概要

2024年2月

株式会社スカパーＪＳＡＴホールディングス

証券コード：９４１２（東証プライム）

このプレゼンテーション資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報に基づく経営陣の予測、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しは、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が見通しと著しく異なる可能性があります。

1. スカパーＪＳＡＴの概要
2. Space Business
3. Media Business

スカパーJSATの歩み

	宇宙事業	メディア事業
1985	日本通信衛星(株) (株)サテライトジャパン 宇宙通信(株)	
1993	(株)日本サテライトシステムズ	
1994		パーフェクTV!企画会社
1995		日本デジタル放送サービス(株)
1996		ジェイ・スカイ・ビー(株)
1998		日本デジタル放送サービス(株)（サービス名 スカイパーフェクTV!誕生）
2000	JSAT(株) 東京証券取引所第一部上場	(株)スカイパーフェクト・コミュニケーションズ 東京証券取引所マザーズ上場 その後一部へ市場変更
2007	経営統合｜持株会社であるスカパーJSAT(株)設立｜東証一部上場	
2008	持株会社社名変更｜(株)スカパーJSATホールディングス スカイパーフェクト・コミュニケーションズ、JSAT、宇宙通信が合併し「スカパーJSAT(株)」誕生	
2022	2022年4月　東京証券取引所　プライム市場へ移行	

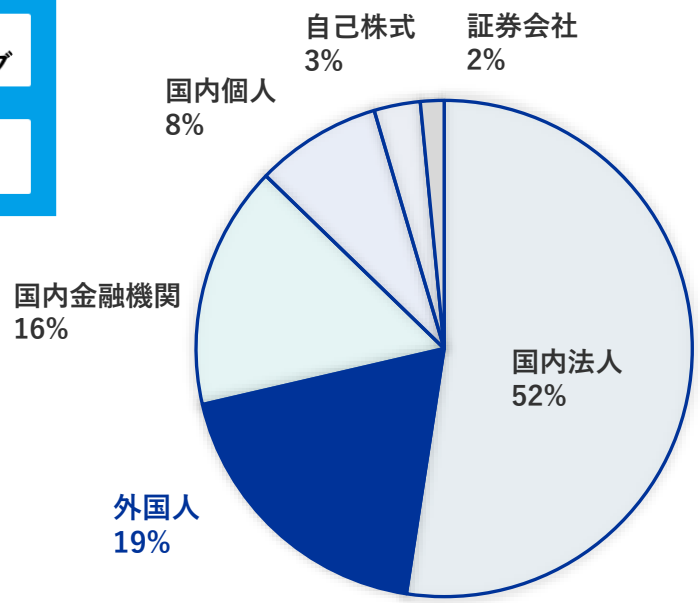
組織図

持株会社｜㈱スカパーＪＳＡＴホールディングス
（東証プライム上場：9412）

中核事業会社｜スカパーＪＳＡＴ㈱
（100%子会社）

- 宇宙事業
  - ＪＳＡＴ MOBILE Communications ㈱
  - ＪＳＡＴ International Inc.
- メディア事業
  - ㈱スカパー・カスタマーリレーションズ
  - ㈱スカパー・ブロードキャスティング
  - ㈱スカパー・エンターテイメント

株主構成　保有比率（2023年9月末）



事業規模

宇宙事業

アジア最大 **衛星通信事業**

SAT 衛星保有機数 **17** 機
（2024年1月末現在）

30年以上の衛星運用実績

メディア事業

日本最大 **有料多チャンネル放送**

スカパー! 加入件数 約 **271** 万件
（2024年1月末現在）

放送/配信の実績・ノウハウ

2022年度通期実績

連結営業収益	連結営業利益	連結当期純利益
1,211 億円	223 億円	158 億円
（宇宙 51％｜メディア 49％）	（宇宙 86％｜メディア 14％）	（宇宙 85％｜メディア 15％）

*比率は事業セグメント間取引含む。

2030年に向けて

新領域に2,000億円以上の投資を予定

SPACE

新技術の活用と
事業領域拡大

1,500億円
以上

既存
衛星通信 ➡

- Universal NTN
- 光データ中継
- ビジネスインテリジェンス

2030年セグメント利益目標　210億円

MEDIA

映像体験を超える
新領域への進出

500億円
以上

衛星放送
/FTTH ➡

- コネクテッドTV
- メディアソリューション
- コンテンツデータベース
- リアルサービス

2030年セグメント利益目標　50億円

サステナブルな成長
2030年に当期純利益250億円超を目指す

5年間のキャピタルアロケーション（FY2022~）

今後5年間は、2030年に向けた基礎収益力向上のための投資期間と位置付ける。
既存事業で安定的に生み出されるキャッシュフローをベースに、
成長機会への資金投下を大きく増やしていく。

借入

約600億円

※Net Debt/EBITDA：2以下が目安

営業CF ＋ これまでの余剰キャッシュ － 借入金返済額

2,000億円

設備投資

約1,000億円

人工衛星、顧客管理システム等、
既存事業における投資

成長投資

約1,200億円

- 宇宙事業：新領域、NTN
- メディア事業：CTV/新領域

株主還元

約400億円

配当に加え、機動的に
自己株式取得を行う

キャピタルアロケーションの進捗（FY2022～FY2026）

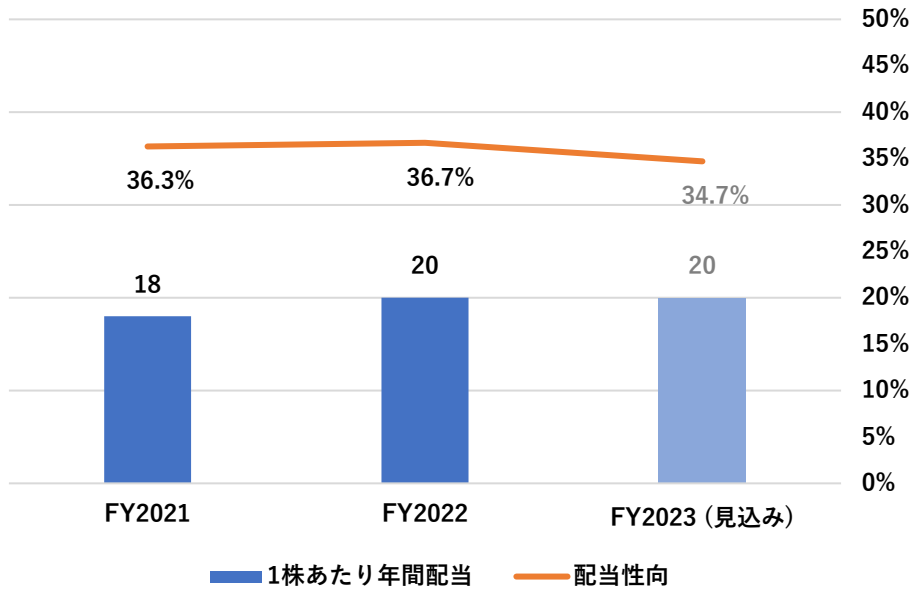
	計画(2022/4公表)	FY2022実績	FY2023見込	FY2024～FY2026計画
営業CF ＋ 余剰キャッシュ ＋ 借入 － 借入返済 2,600億円	既存領域投資 1,000億円	48億円 地球局 放送設備　他	176億円 衛星後継機 地球局 放送設備 軌道上衛星延命 サービス　他	拡大
	成長投資 1,200億円	154億円 新衛星 Space Compass設立 QPS研究所増資	184億円 新衛星 新サービス向け地球局 ストリーミングデバイス 他	拡大
	株主還元 400億円	53億円 増配	61億円 配当 50億円 自己株式取得 （2023年12月末で取得終了）	拡大
IN	計2,600億円	計255億円	累計726億円	※主な投資決定済み案件の2024年度以降の支出予定額 265億円 （主な案件：Superbird-9、ETS-9、新規地球局、Space Compassなど）

株主還元(FY2022～FY2026)

**今後5年間は、基礎収益力向上のための投資期間と位置付け、
安定配当に加え、機動的な自己株式取得とあわせて
400億円の株主還元を行う**

【配当方針】

以下の条件を満たす配当額を実施：
1株あたり年間 16 円以上、配当性向 30 %以上



【自己株式取得】

自己株式の取得終了
（2023年12月20日）

取得した自己株式の累計

取得した株式の数	7,389,900株
株式を取得するのと引換えに交付した金銭等の内容及びその総額	金4,999,939,049円

2023年9月6日開催の取締役会における決定内容
- 期間：2023年9月7日～2024年4月30日
- 10,000,000株（上限）又は金5,000,000,000円（上限）

SKY Perfect JSAT Group

SPACE BUSINESS

スカパーＪＳＡＴの強み

- 日本で最初に民間商用衛星打ち上げたパイオニア
- 衛星運用年数　30年以上
- 衛星保有機数　17機（2024年2月現在）
- 日本で唯一・アジア最大の衛星オペレータ

衛星の種類

静止軌道(GEO)
36,000km

1.静止衛星（Geostationary Orbit Satellite)

- 通信衛星（CS / Communications Satellite）
- 放送衛星（BS / Broadcasting Satellite）

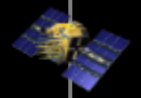
スカパーＪＳＡＴの既存サービス領域

- 気象衛星（例：ひまわり）

JSAT
通信衛星保有数 17機
（2023年11月現在）

30年以上の運用実績

中軌道(MEO)



2.中軌道衛星（Medium Earth Orbit)

- GPS衛星 (Global Positioning System)

低軌道(LEO)
～1,000km

3.低軌道衛星（Low Earth Orbit)

- 地球観測衛星（リモートセンシング衛星）
- 通信衛星
- 国際宇宙ステーション

衛星フリート図

2024年2月現在

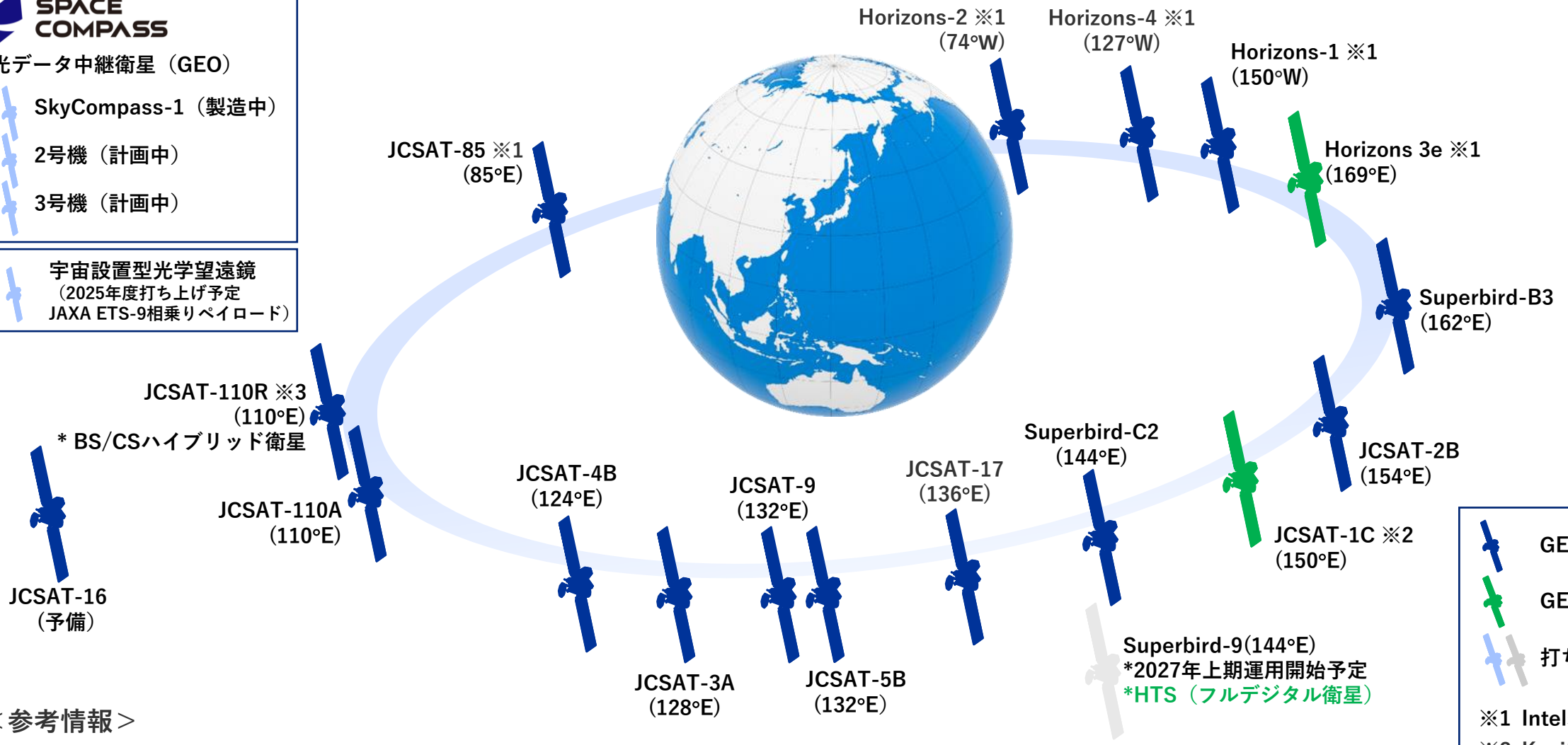
北米上空からインド洋上空まで 計17機 の衛星を保有

SPACE COMPASS

光データ中継衛星（GEO）

- SkyCompass-1（製造中）
- 2号機（計画中）
- 3号機（計画中）

宇宙設置型光学望遠鏡
（2025年度打ち上げ予定
JAXA ETS-9相乗りペイロード）



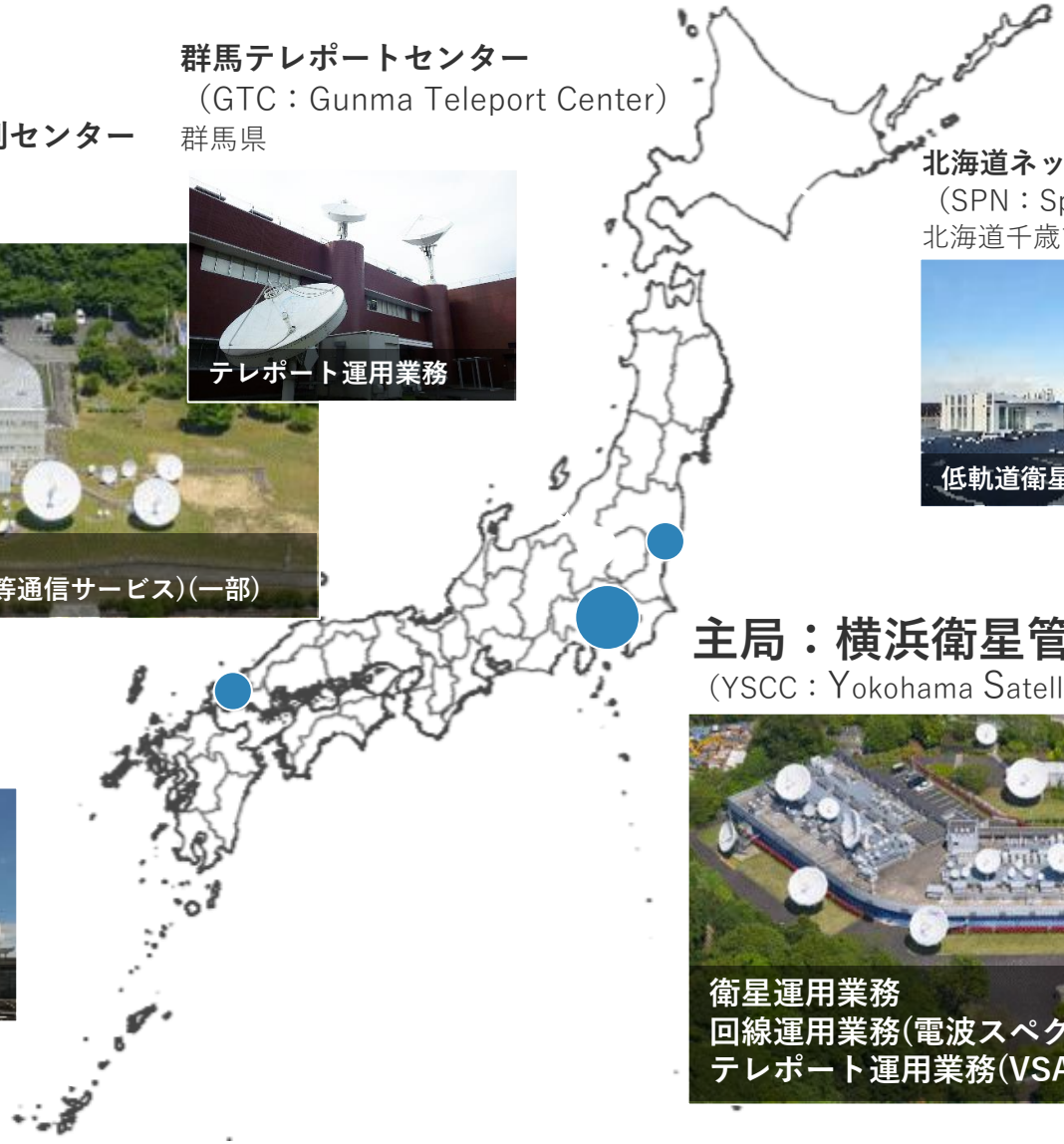
- GEO：静止衛星
- GEO（HTS）
- 打ち上げ予定

※1 Intelsat社との共同衛星
※2 Kacific社との共同衛星
※3 BSAT社との共同衛星

＜参考情報＞

・2023年3月末時点の契約バックログは2,309億円
・運用中衛星の平均機齢：約10年／設計寿命：約15年

主要設備（衛星管制・通信運用拠点）



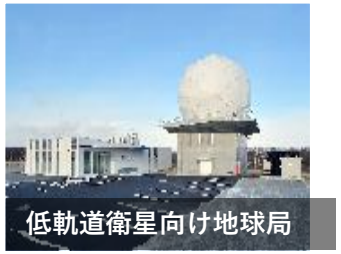
副局：山口ネットワーク管制センター
（SPW：Space Port West）
山口県山口市

衛星運用業務(一部)
テレポート運用業務(VSATハブ局等通信サービス)(一部)

群馬テレポートセンター
（GTC：Gunma Teleport Center）
群馬県

テレポート運用業務

北海道ネットワーク管制センター
（SPN：Space Port North）
北海道千歳市



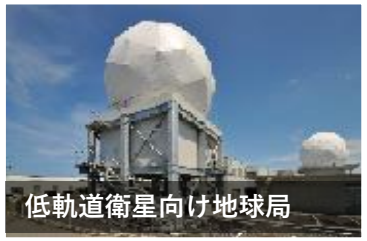
低軌道衛星向け地球局

副局：茨城ネットワーク管制センター
（SPE：Space Port East）
茨城県常陸大宮市

低軌道衛星
向け地球局

衛星運用業務
回線運用業務（電波スペクトラム監視）

沖縄ネットワーク管制センター
（SPS：Space Port South）
沖縄県糸満市



低軌道衛星向け地球局

主局：横浜衛星管制センター

（YSCC：Yokohama Satellite Control Center）神奈川県横浜市

衛星運用業務
回線運用業務(電波スペクトラム監視)
テレポート運用業務(VSATハブ局等通信サービス)

宇宙事業の収益構成

2022年度営業収益

622
億円

48% 国内衛星通信

官公庁・自治体・公共インフラ企業への通信回線（災害対策・安全保障）
携帯電話のバックホール回線等

23% 国内衛星放送

スカパー！放送事業者への衛星回線提供

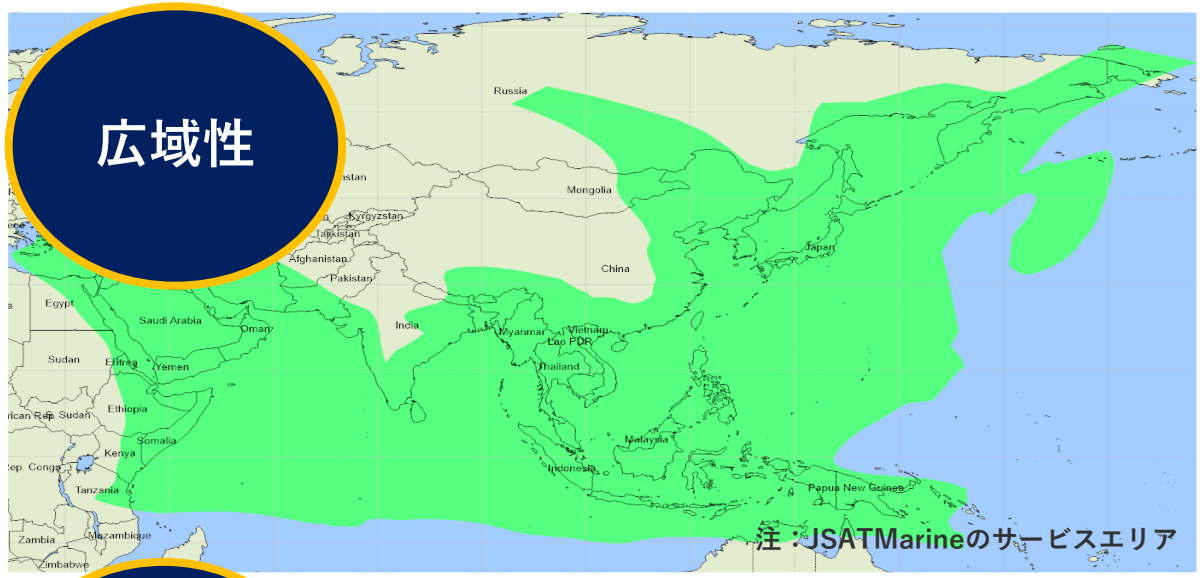
26% グローバル・モバイル

船舶・航空機向け衛星回線提供
海外市場

3%　新領域

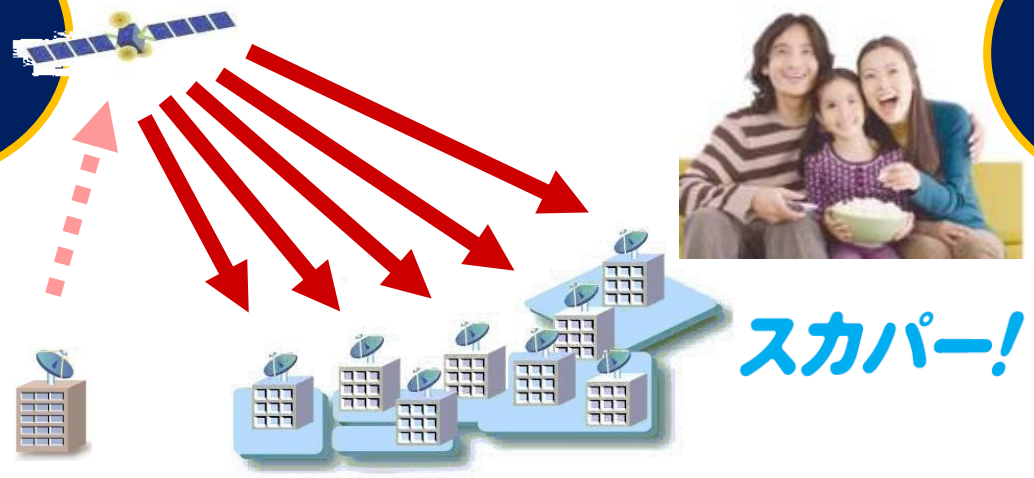
静止衛星を利用した通信の特長

広域性



耐災害性

同報性



スカパー!

柔軟性

衛星利用のトレンド

■ 衛星通信の新たな利用・需要拡大

- 官公庁、安全保障分野での利用拡大
- 地上携帯網とのシームレスな接続の実現（NTN）、スマホとのダイレクトアクセス（LEO、HAPS）
- 航空機・船舶の需要拡大と移動体の新たな利用（コネクテッドカー、空飛ぶクルマ、ドローン）

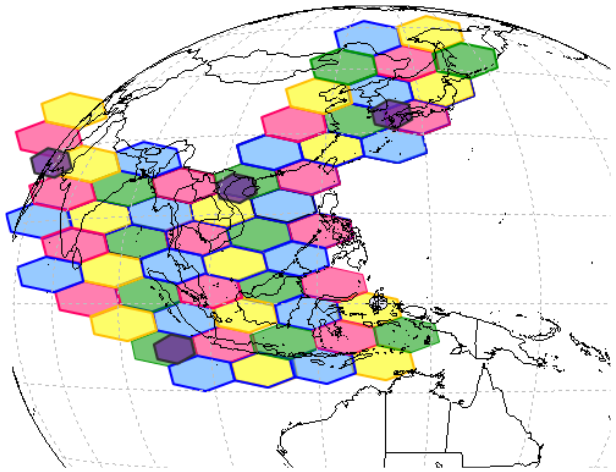
■ 衛星通信の大容量・高速化

- 数Mbps（最大で数10Mbps）　⇒　数100Mbpsへ
- 静止衛星（GEO）のニューテクノロジー（HTS、SDS）　数Gbps　⇒　数百Gbpsへ
- 軌道上衛星延命サービスの活用により、フリート計画の柔軟性が飛躍的に向上
- 低軌道(LEO)コンステレーションの登場
- GEOとLEO、MEO（中軌道）の共存

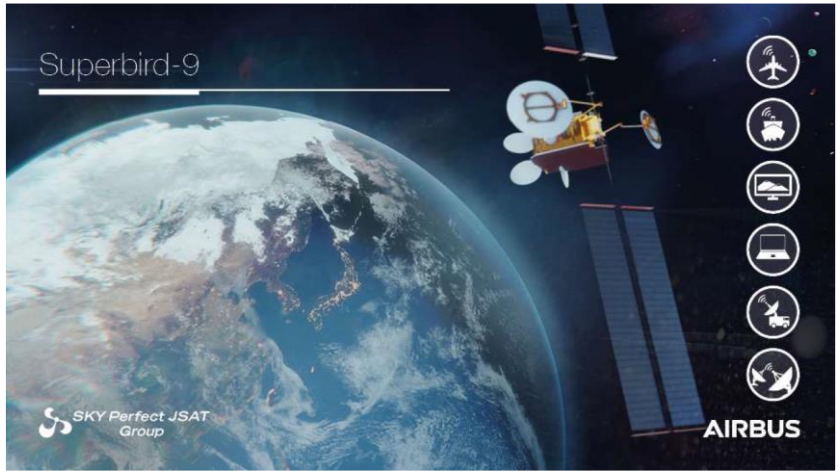
NTN: Non-Terrestrial-Network
HTS: Hight Throughput Satellite
SDS: Software-Defined Satellite

静止衛星の新技術

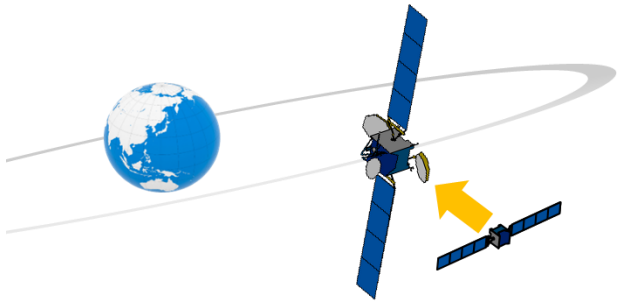
- HTSやSDSなど静止衛星の技術革新が急速に進展
- より柔軟により大容量のサービスが提供可能に
- 軌道上衛星延命サービスの調達を決定



HTS
（Hight Throughput Satellite）



SDS
（Software-Defined Satellite）



軌道上衛星延命サービス

事業領域：国内通信・運用管制受託など

■ 官公庁・自治体・企業向けに堅固な通信基盤を提供

- 官公庁・自治体、放送局等の大口顧客に対する衛星回線
- 重要拠点間通信、災害対策・BCP用バックアップ回線の通信基盤

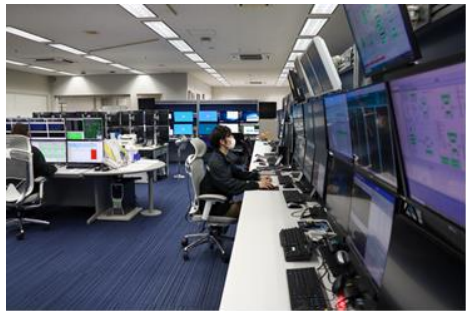
写真：災害現場の携帯移動基地局

■ 携帯キャリア向け携帯基地局バックホール回線を提供

- 携帯電話基地局と基幹網を結ぶ衛星回線の需要増
- 離島や山間僻地の衛星バックホール回線
- 災害対策としての携帯移動基地局向け衛星回線

■ 衛星運用管制等の受託サービスを提供

- 防衛省きらめき１/２号機調達・運用
- JAXA技術試験衛星（ETS-9）のバス運用
- QPS研究所の小型SAR衛星運用
- 総務省C帯衛星監視設備の整備・運用
- JAXA衛星追跡管制ネットワークの運用監視



写真：横浜衛星管制センター内管制室

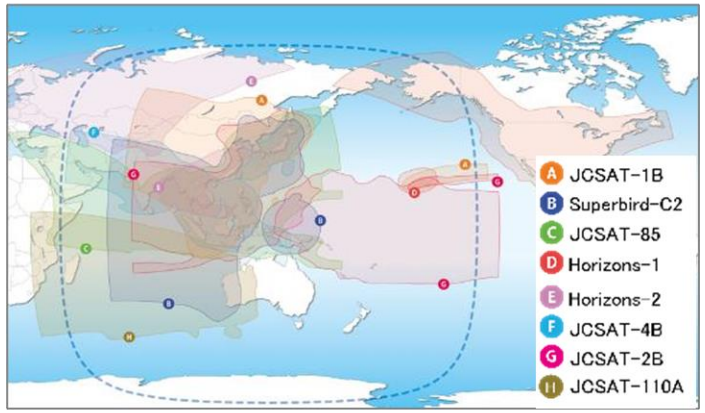
事業領域：グローバル・モバイル

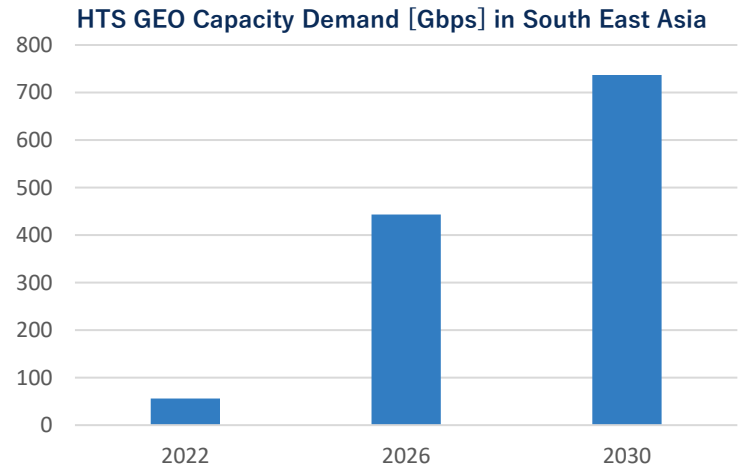
■ アジア太平洋・北米中心にグローバル事業展開

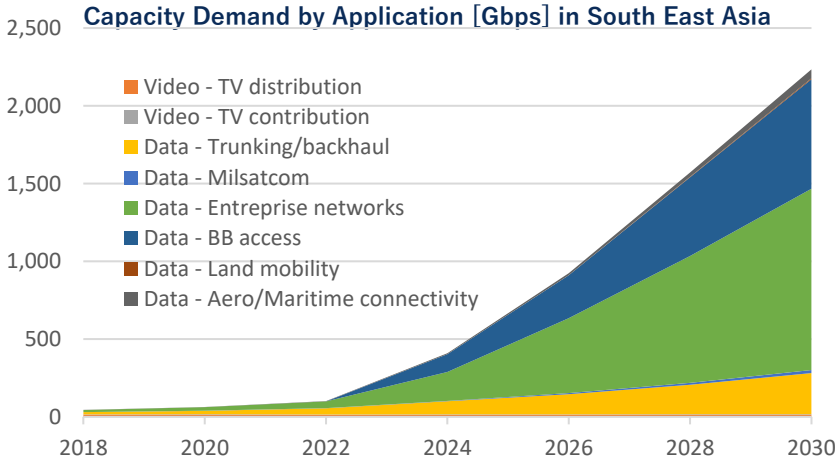
- 東南アジアでの静止衛星の需要が急増
- Intelsatと共同でHorizonsシリーズ衛星保有

■ 航空機・船舶向けブロードバンド回線需要が拡大

- 当社衛星を使って機内Wi-Fiを提供
- 機内Wi-Fiはビデオストリーミングの需要拡大で将来成長の柱



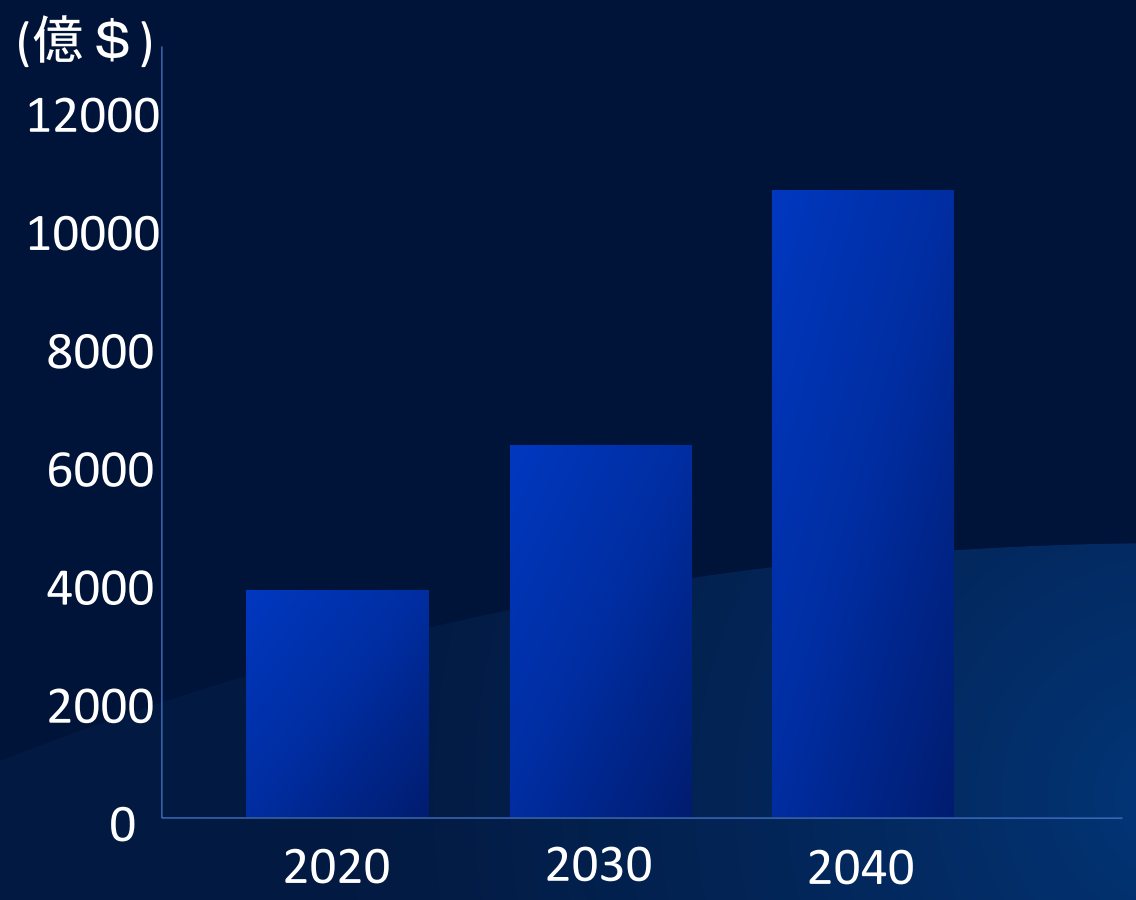




Source: Satellite Connectivity and Video Market 30th Edition ©2023 Euroconsult

Growth Story

宇宙ビジネス全体の市場規模は2040年までに100兆円規模に



Source: Haver Analytics, Morgan Stanley Research forecasts
https://www.morganstanley.com/ideas/investing-in-space

宇宙活用ビジネス

- ✓ 通信・放送
- ✓ 地球観測
- ✓ 宇宙状況把握

衛星開発・製造

衛星運用

宇宙進出ビジネス

- ✓ 宇宙旅行・移住

探査・資源開発

宇宙基盤ビジネス

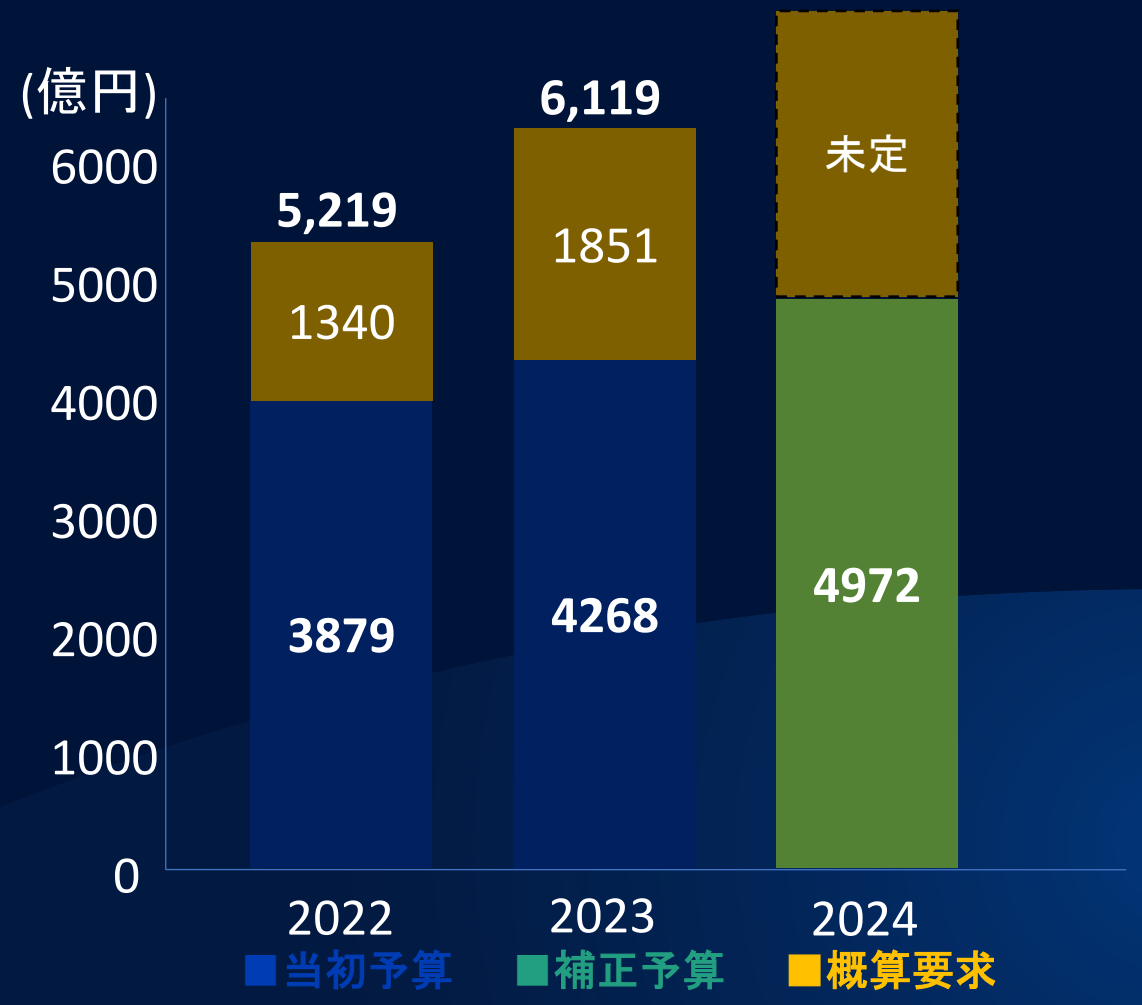
- ✓ 輸送
- ✓ 軌道上サービス

ロケット・宇宙船

宇宙ごみ除去

© 2023 SKY Perfect JSAT Corporation. All Rights Reserved.

2024年度宇宙関連概算要求は総額4,972億円
宇宙ビジネス支援を目的とした宇宙戦略基金は今後10年間で1兆円



Source: 内閣府ホームページ
https://www8.cao.go.jp/space/comittee/1-kihon/kihon-dai34/siryou1_1.pdf

内閣衛星情報センター 755億円
- ✓ 情報収集衛星の開発・運用

内閣府　254億円
- ✓ 準天頂衛星システムの開発・整備・運用
- ✓ 小型衛星コンステレーションの構築など

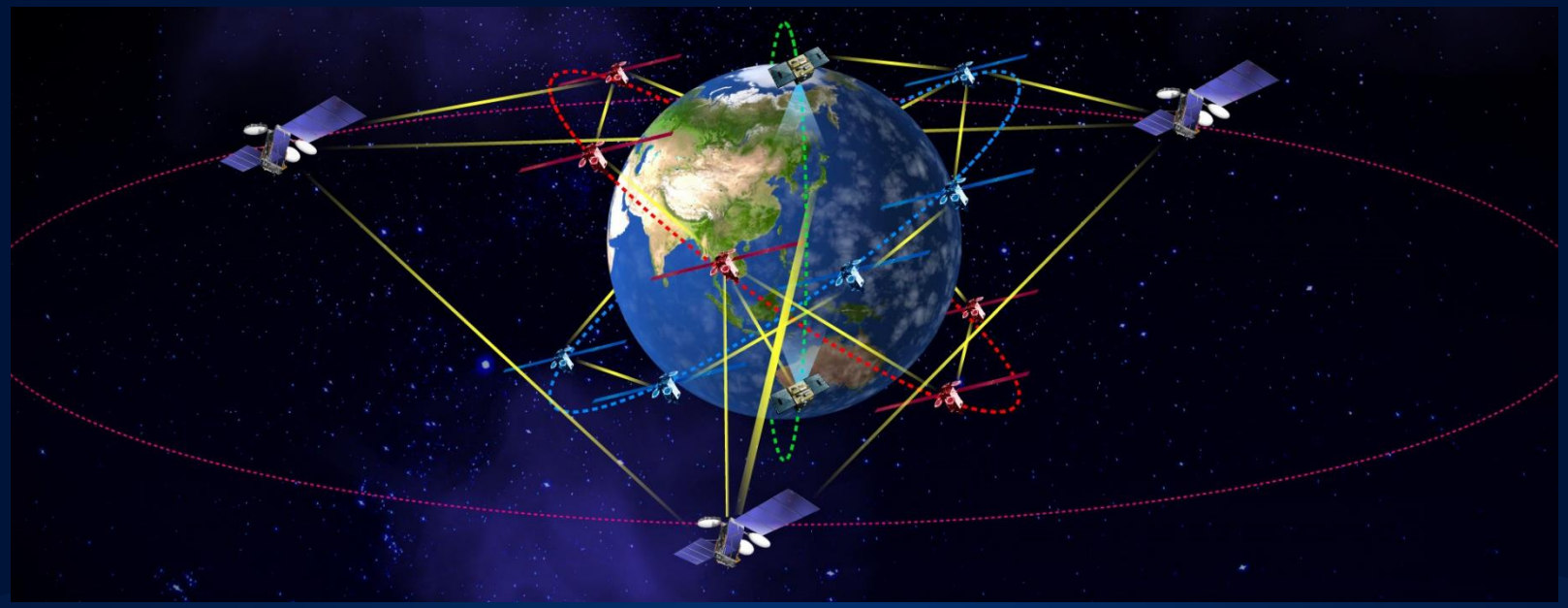
文部科学省　2,033億円
- ✓ アルテミス計画に向けた研究開発
- ✓ H3ロケットの開発・高度化

経済産業省 217億円
- ✓ 小型衛星の競争力強化に向けた研究開発等

防衛省 1,210億円
- ✓ 画像解析用データの取得
- ✓ 宇宙領域把握（SDA)衛星の整備

© 2023 SKY Perfect JSAT Corporation. All Rights Reserved.

宇宙ビジネスの知見・実績を活かした安全保障分野への取組み



宇宙からの情報収集

衛星コンステの構築

宇宙の状況把握

宇宙システム抗たん性強化

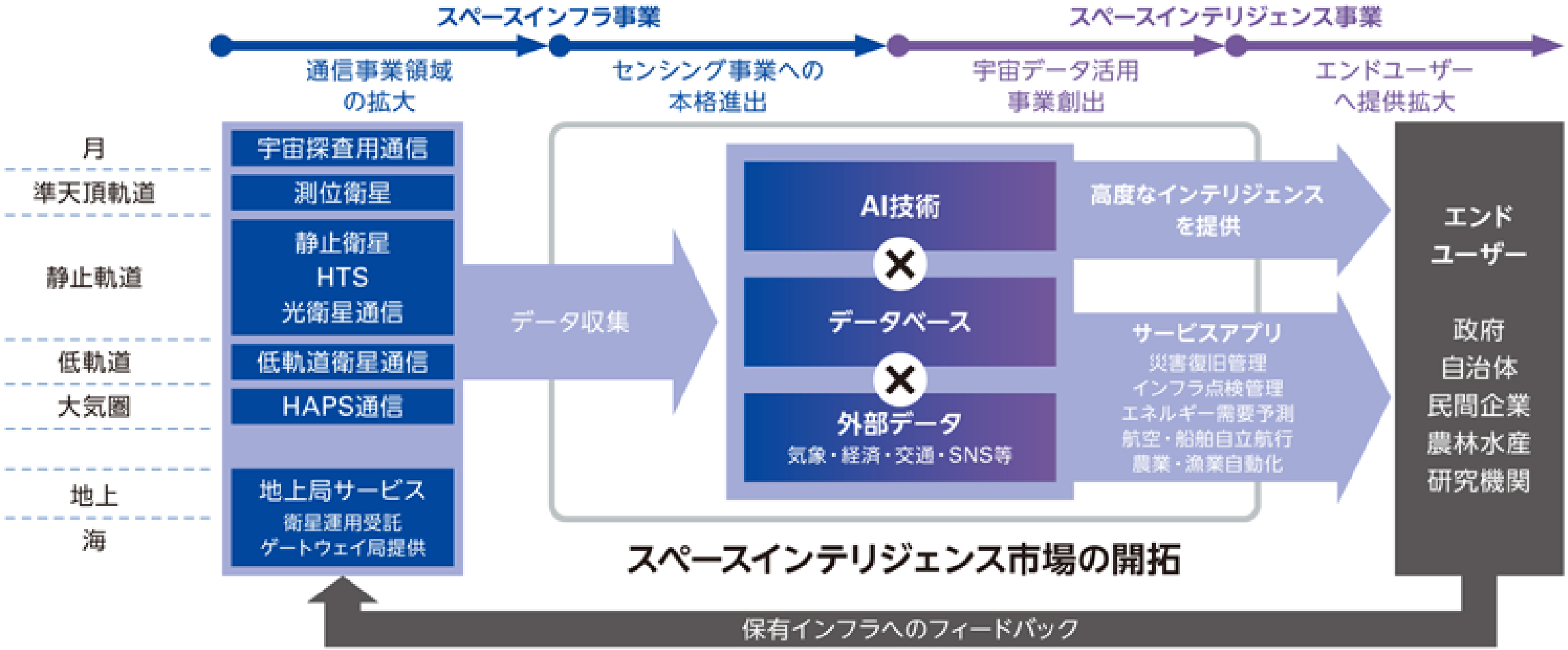
宇宙事業ビジョン

すべての空間を対象とした革新的な通信ネットワーク及び地球規模のデータ収集ネットワークを構築し、超スマート社会の実現に貢献する。

2030年セグメント利益目標
210億円

安全保障	防災	スマートシティ	スマート農業	自動運転	その他第1-3産業
政府	自治体	建設	農業	運輸	医療

ビジネス領域


スペースインフラ事業
スペースインテリジェンス事業
通信事業領域の拡大
センシング事業への本格進出
宇宙データ活用事業創出
エンドユーザーへ提供拡大
月
準天頂軌道
静止軌道
低軌道
大気圏
地上
海
宇宙探査用通信
測位衛星
静止衛星
HTS
光衛星通信
低軌道衛星通信
HAPS通信
地上局サービス
衛星運用受託
ゲートウェイ局提供
データ収集
AI技術
データベース
外部データ
気象・経済・交通・SNS等
高度なインテリジェンスを提供
サービスアプリ
災害復旧管理
インフラ点検管理
エネルギー需要予測
航空・船舶自立航行
農業・漁業自動化
エンドユーザー
政府
自治体
民間企業
農林水産
研究機関
スペースインテリジェンス市場の開拓
保有インフラへのフィードバック

宇宙統合コンピューティング・ネットワーク

© NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE CORPORATION & SKY PERFECT JSAT CORPORATI

2024年までにアジア太平洋地域で初のGEO衛星「SkyCompass-1」が打ち上げられ、準リアルタイムかつ高容量のデータ転送サービスを提供します。

NTTとの合弁会社Space Compassを中心に革新的な通信インフラの構築を進める

SPACE COMPASS

光データリレーサービス

Skyloom社と提携

宇宙RAN（HAPS）サービス

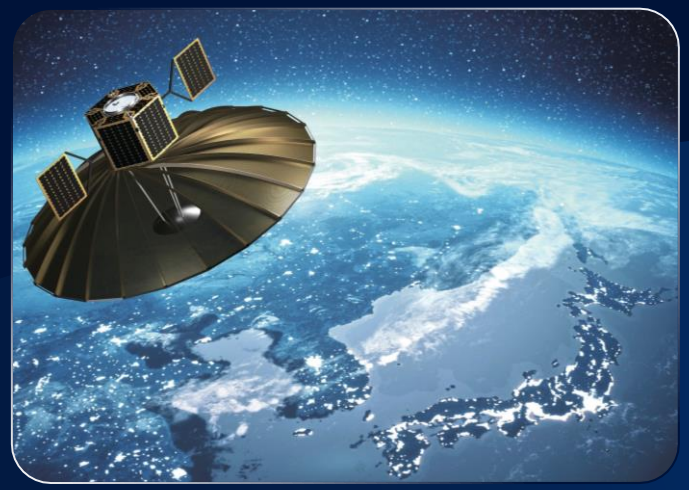
AALTO HAPS社 Zephyr(ゼファー)
Credit: AALTO

衛星データセンシング・解析

衛星製造 ▶ 衛星保有・運用 ▶ データ受信 ▶ 分析 ▶ アプリケーション ▶ 販売チャンネル ▶ エンドユーザー

Spatio-ID

iQPS



QPS研究所と連携強化
小型SAR衛星コンステレーション活用事業を推進

- 2023年12月、東証グロース市場に上場
- QPS-SAR5号機　2023年12月打ち上げ、2024年1月初画像（ファーストライト）取得に成功
- QPS-SAR6号機（2023年6月打ち上げ済み）　本運用開始

衛星データ活用事例

■ 当社Webサイトで地震前後の衛星画像を公開

https://www.skyperfectjsat.space/jsat/service/planet/#

■ QPS研究所においてもSAR画像を公開

https://i-qps.net/news/1614/

株式会社Orbital Lasers設立

社名：株式会社Orbital Lasers
所在地：東京都港区赤坂
設立： 2024年1月12日
株主：スカパーＪＳＡＴほか

Orbital Lasers Concept Movie
(CLICK HERE)

©スカパーＪＳＡＴ

- スペースデブリ除去事業
  - ・DTB（Detumbling）事業
    スペースデブリの回転を止めるペイロードの開発・販売（2025年度予定）
  - ・ADR （Active Debris Removal）事業
    スペースデブリを除去するサービス（2029年度予定）
- 衛星ライダー（LiDAR：Light Detection and Ranging）事業
  - ・地球観測事業
    衛星ライダーによる高精度な地表面情報の取得・提供（計画中）

SKY Perfect JSAT Group

MEDIA BUSINESS

メディア事業の展開領域

放送事業

スカパー!

有料多チャンネル放送
「スカパー！」

FTTH事業

光回線を経由した
テレビ再送信サービスの接続

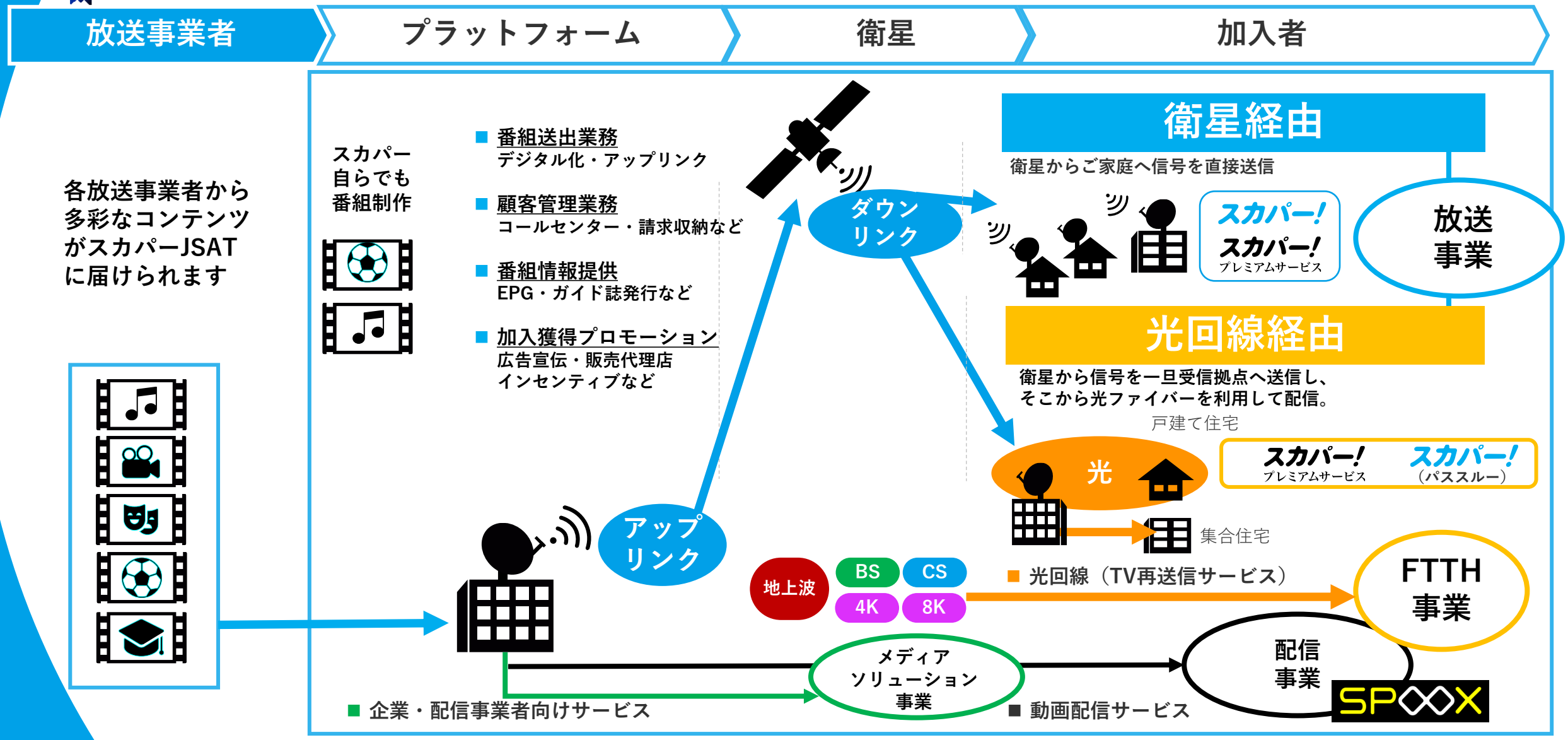
配信事業

「SPOOX」と「番組配信サービス」
により競争力を強化

メディア ソリューション 事業

放送用の設備・技術を
活用したソリューション事業

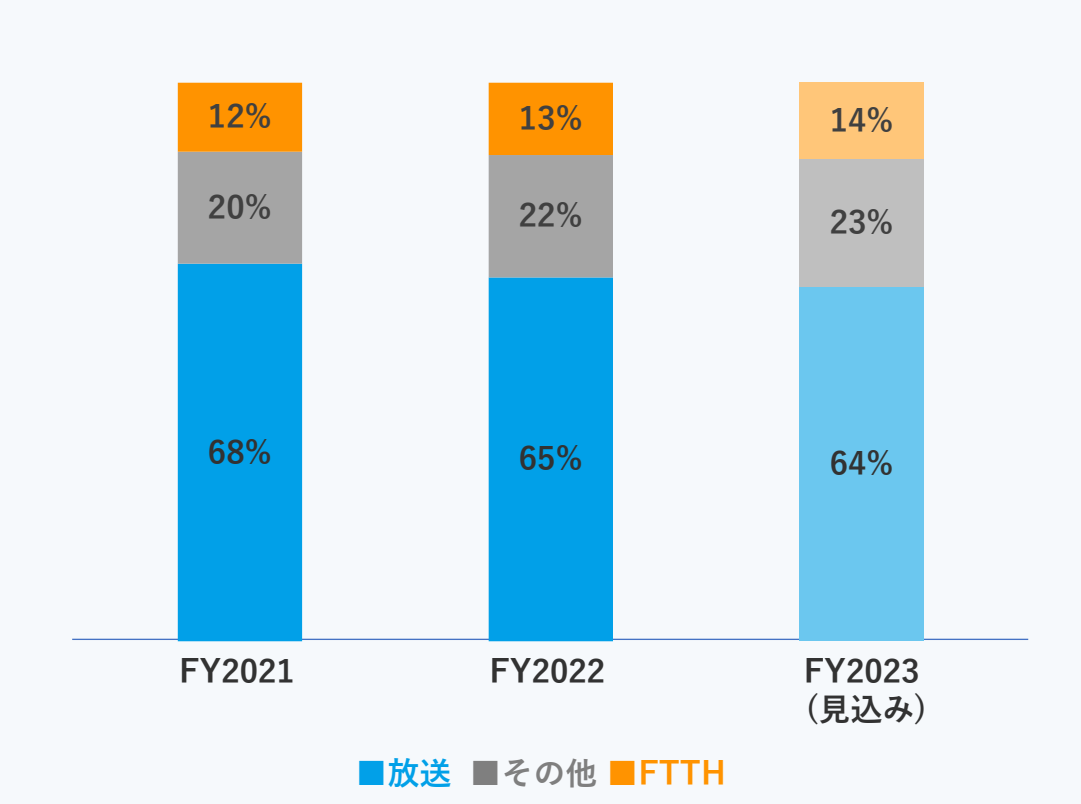
メディア事業の展開


放送事業者
プラットフォーム
衛星
加入者
各放送事業者から
多彩なコンテンツ
がスカパーJSAT
に届けられます
スカパー
自らでも
番組制作
■ 番組送出業務
デジタル化・アップリンク
■ 顧客管理業務
コールセンター・請求収納など
■ 番組情報提供
EPG・ガイド誌発行など
■ 加入獲得プロモーション
広告宣伝・販売代理店
インセンティブなど
ダウン
リンク
アップ
リンク
衛星経由
衛星からご家庭へ信号を直接送信
スカパー!
スカパー!
プレミアムサービス
放送
事業
光回線経由
衛星から信号を一旦受信拠点へ送信し、
そこから光ファイバーを利用して配信。
戸建て住宅
光
スカパー!
プレミアムサービス
スカパー!
（パススルー）
集合住宅
■ 光回線（TV再送信サービス）
FTTH
事業
地上波
BS
CS
4K
8K
メディア
ソリューション
事業
配信
事業
SPOOX
■ 企業・配信事業者向けサービス
■ 動画配信サービス

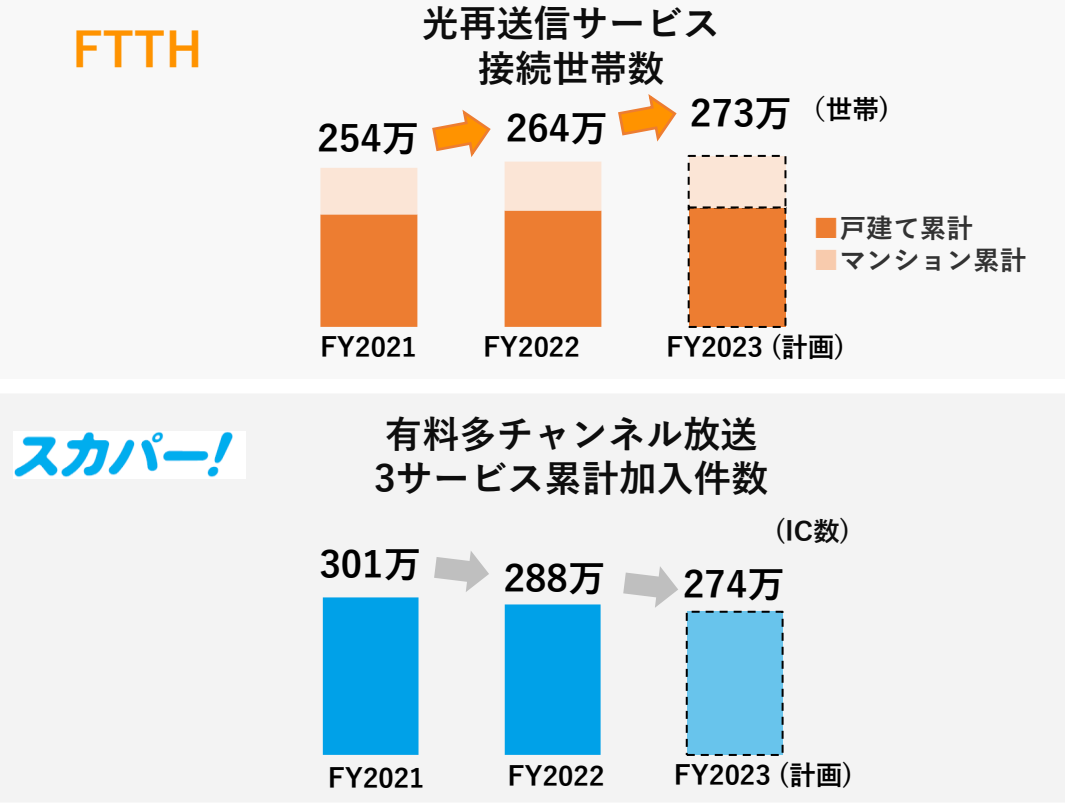
メディア事業の構造

放送サービスが収益を牽引する一方で、FTTHビジネスが堅調に成長

【営業収益構成推移】

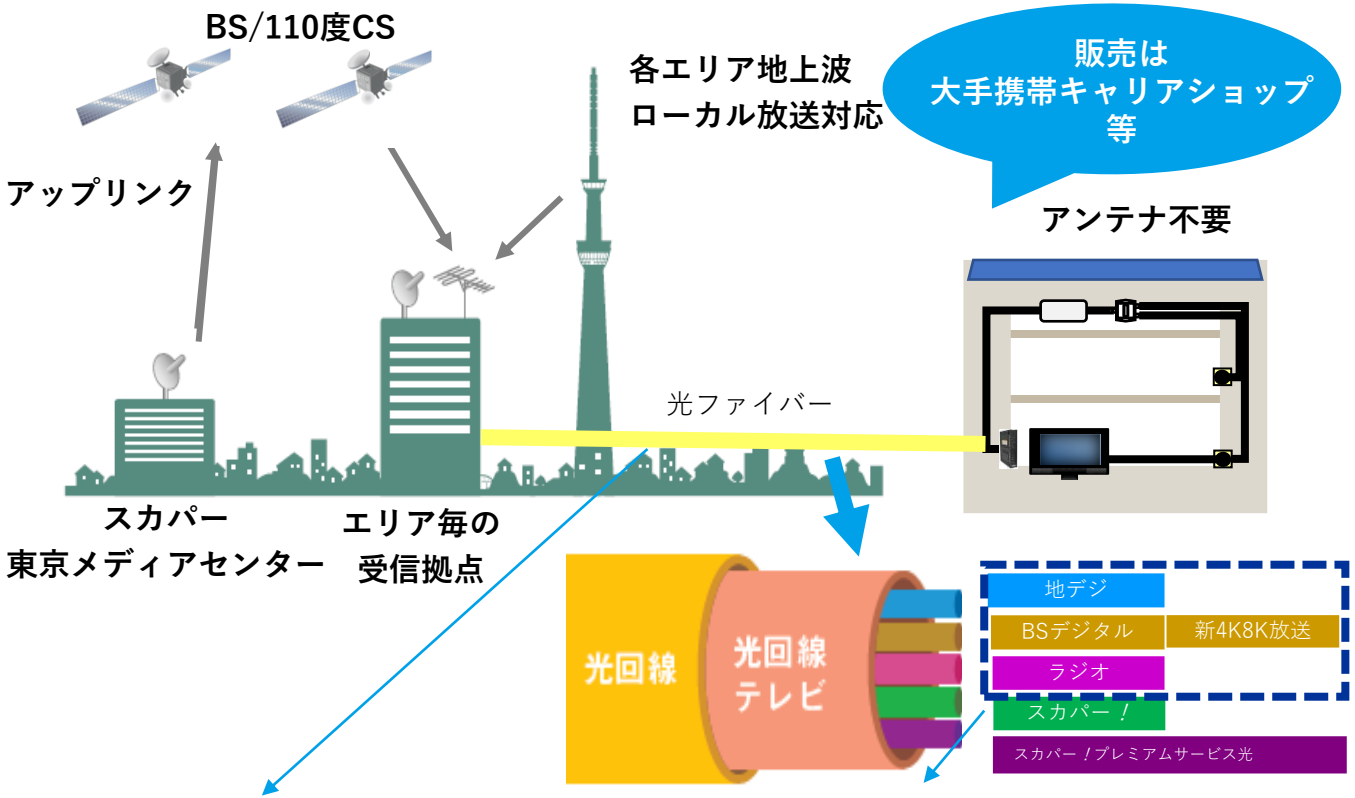


【件数推移】



FTTH事業(光再送信サービス)

- 戸建・マンション向けに光回線サービス上で地上波・BS・CS放送等を再送信
- 提供エリアは世帯カバー率76%まで順調に拡大



費用：
通信事業者への回線料等

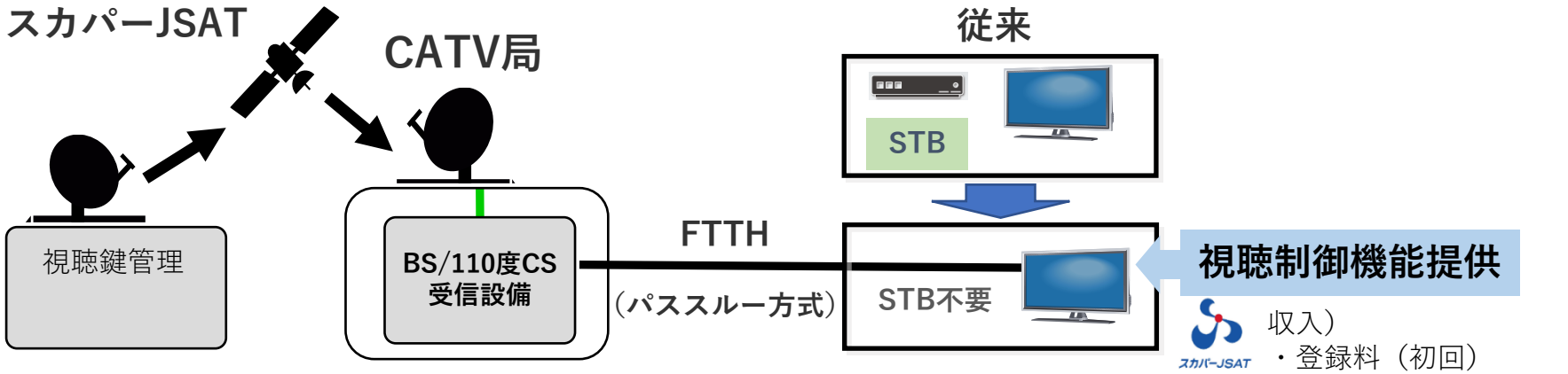
月額利用料：825円
テレビ視聴サービス330円/月（スカパーＪＳＡＴ提供）
＋光回線テレビ伝送サービス495円/月（コラボ事業者提供）

※料金は戸建ての場合（税込）

FTTHパススルー事業

衛星通信と視聴鍵信号管理技術を使ってケーブルテレビ事業者の課題を解決

【サービスイメージ】



＜サービスの詳細はこちら＞

＜主な導入メリット＞
- ACAS対応への設備投資コスト削減
- お客様宅のSTB不要
- 多チャンネル放送サービス継続　等

放送3サービスと動画配信

今すぐ番組を楽しむ

スカパー!

79ch

199万件

放送事業者からの業務手数料
視聴料の25%/30%

チャンネル数と画質にこだわる

スカパー!
プレミアムサービス

136ch

専用チューナー必要

アンテナ経由
（東経124/128CS放送）

65万件

放送事業者からの業務手数料
視聴料の30%

アンテナ不要でスッキリ

スカパー!
プレミアムサービス 光

136ch

専用チューナー必要

光回線経由

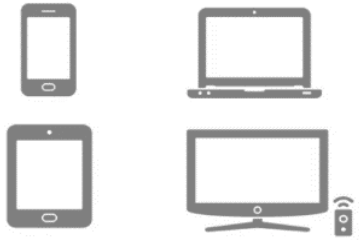
6万件

放送事業者からの業務手数料
視聴料の50%

スマホ・PC・タブレット・TVでいつでもどこでも

SPOOX

日本最大数の
放送チャンネルを
動画配信



非公開

スカパー！主力商品

幅広いチャンネルを手頃な価格で提供し、
多くの加入者に届ける

スカパー！基本プラン

基本プラン
月額3,960円（税込）

**2024シーズンも
プロ野球全12球団を放送・配信**

スカパー！プロ野球セット

月額4,054円（税込）

Growth Story

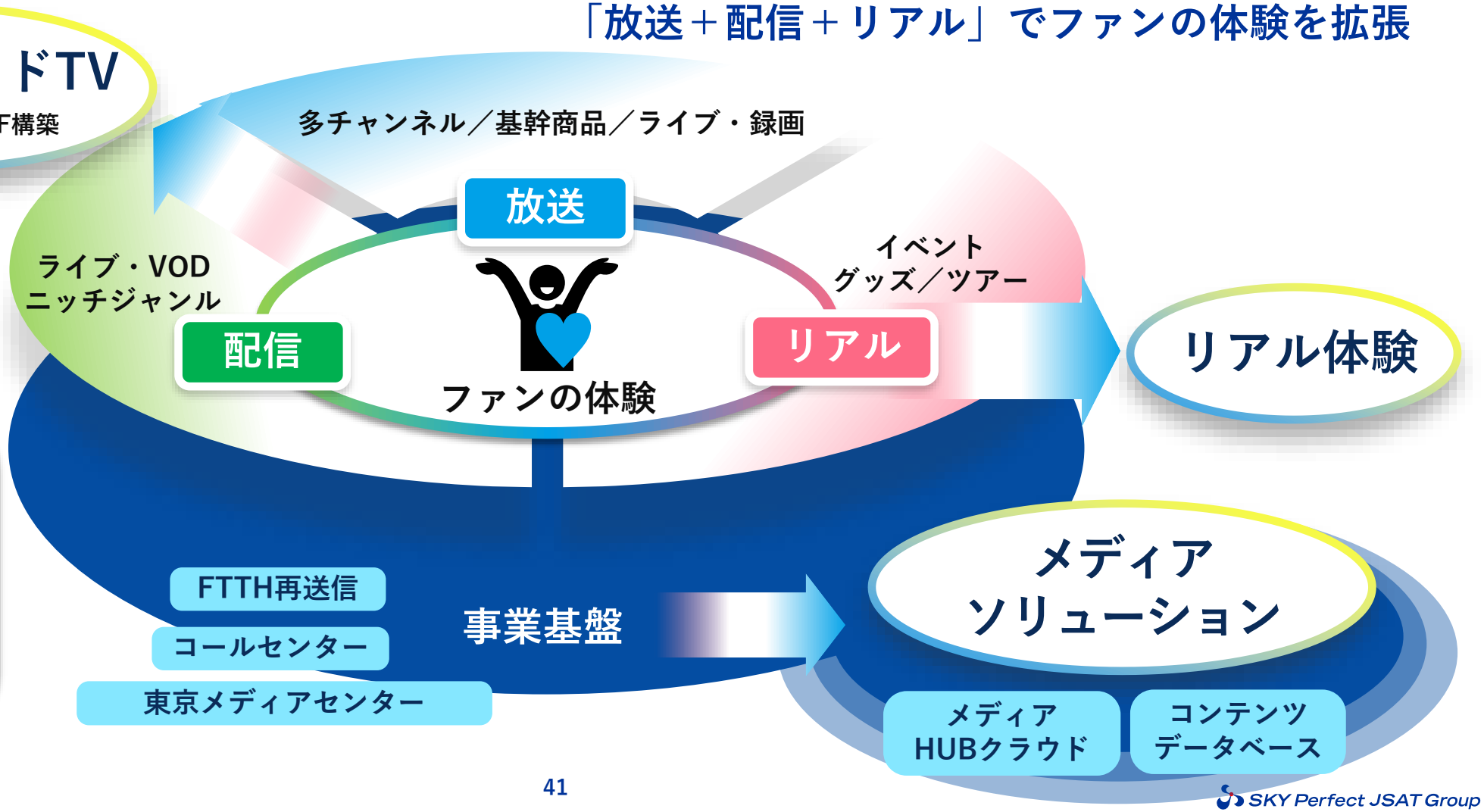
メディア事業ビジョン

MEDIA

2020+

人と人、企業、社会をつなぐプラットフォームとして
多様で創造性豊かな社会の実現に貢献する

「放送＋配信＋リアル」でファンの体験を拡張



2030年
セグメント
利益目標
50億円

放送＋配信のハイブリッドプラットフォーム『コネクテッドTV』早期実現へ

融合

放送体験の提供

地上波/4K・8K
BS/CS

FTTH　DTH

配信体験の提供

無料AVOD
有料SVOD/TVOD

自社開発ドングル

参考リンク

- 最新IR資料| IR ライブラリー

https://www.skyperfectjsat.space/ir/library/

2024年3月期 第３四半期決算説明会（2024年2月7日）

- 統合報告書オンライン版

https://www.skyperfectjsat.space/ir/library/jsat_report/2023/

- 動画

スカパーJSAT　足跡とこれまでの宇宙事業

https://youtu.be/sTOSpshjVeQ

スカパーJSAT　宇宙から創造する10年後の未来

https://youtu.be/6gAQIALFWQE

SKY Perfect JSAT Group